



県民の友

No.892
平成24年
[2012]

12

月号



P2

県政最前線 がん対策特集

先端医療の その先へ

県民の健康を守る
がん対策の推進

先端医療の その先へ

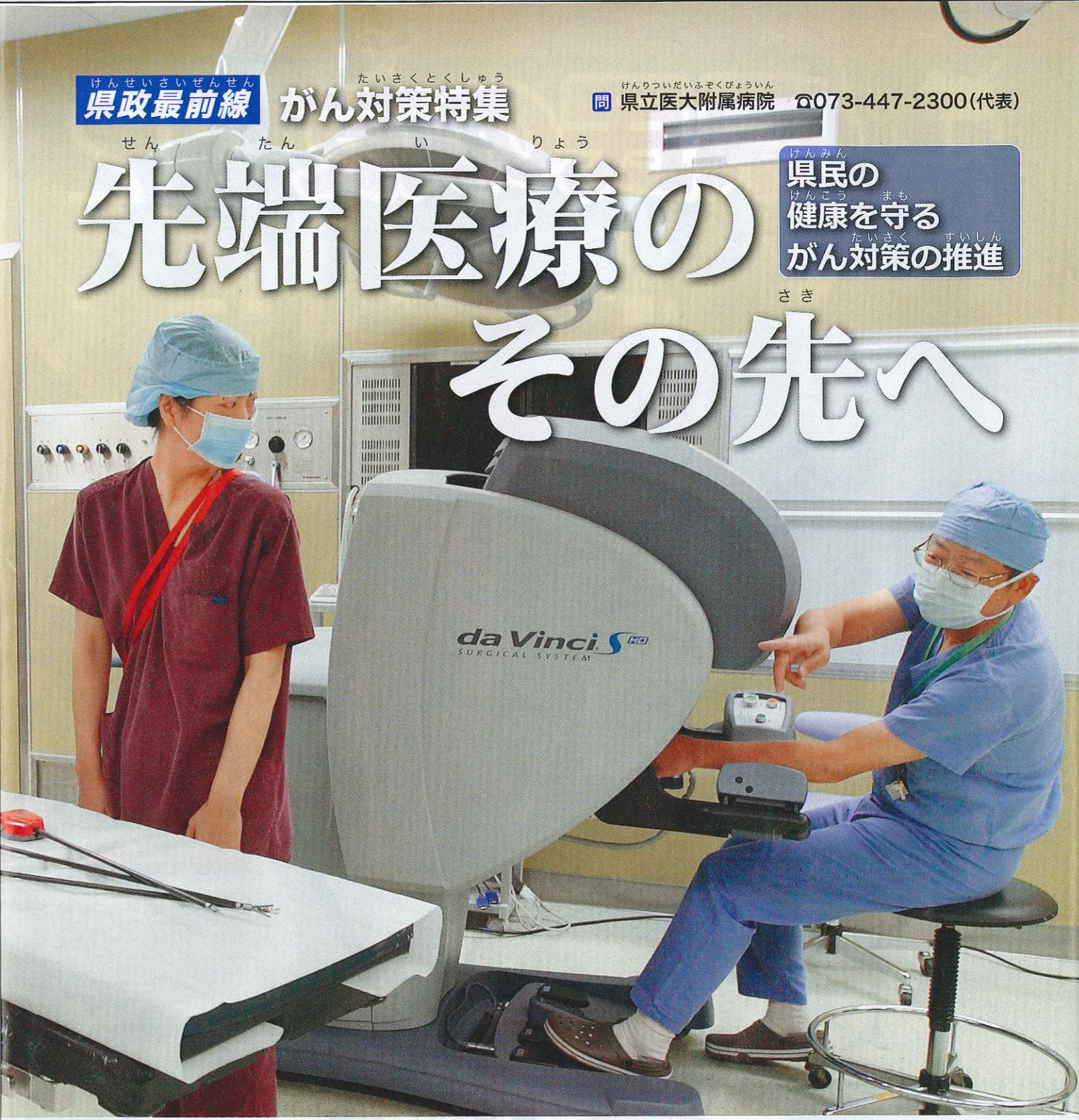
けんみん 県民の
けんこう 健康を守る
たいさく がん対策の
すいしん 推進

医師が4本のロボットアームの遠隔操作を行います。患者の体内がモニターに映る3次元画像により鮮明に見え、手ぶれも起こらず複雑な作業が可能で、これまでの手術では切除が難しかった部位も安全に取り除くことができます。

いし き わかやま せんたんいりょう 医師に聞く「和歌山の先端医療」

県立医大附属病院泌尿器科 原 勲 教授

ロボット支援手術は海外では既に確立された手術方法として多くの実績があります。前立腺全摘除術が保険適用となったことで、今後前立腺がんに対する標準的な手術方法となる可能性が高いです。高度先端医療の象徴であるダヴィンチを近畿圏でも先駆けて導入できたことで、県民の皆さんの期待も大きくなると思います。今後は症例の実績を上げるよう全力で取り組んでいきます。



大学病院では全国で2番目の導入となるトモセラピーは、放射線ががん細胞にピンポイントで均一に当たることができ、患者以外への放射線照射を最小限に抑え、照射時間も10分程度と短く、副作用の軽減が期待されます。



さいせんたんほうしやせんちりょう 最先端放射線治療 「IMRT」トモセラピー

地域の医師や報道関係者に公開されたダヴィンチ。近畿の大学病院では、京都大学、大阪大学、神戸大学、兵庫医科大学で導入されています。(平成24年10月現在)

原教授による概要説明



※内視鏡手術：患者の腹部などに小さな穴を数カ所開け、ファイバースコープや手術器具を挿入し、モニターに映った体内の様子を見ながら行う手術。

県では、地域におけるがん診療体制の充実強化のため、県内のがん診療の拠点となる病院などの医療機器を整備するとともに、がん検診の未受診者対策など総合的ながん対策を推進しています。また、がん診療の中核を担う県立医大附属病院では、がん診療の充実をめざし、最先端医療機器の導入などに取り組んでいます。

さいせんたんいりりょうきき 最先端医療機器 「手術支援ロボット」ダヴィンチ

県立医大附属病院では、高齢者に多い前立腺がんなどの手術を支援するロボット「ダヴィンチ」が導入されています。ダヴィンチは、これまで手術の難易度が高く医師の経験と技術が必要とされていた「内視鏡手術」の際に用いられる医療用ロボット。血管が多く集まるなど精密さが求められる前立腺手術で期待され、将来は、胃、肺、子宮などの摘出や切除といった分野にも活用が期待されています。